

TEAM IMPUL

Race result report



2014年 SUPER FORMULA シリーズ 第1戦
三重県 鈴鹿サーキット
(2014年4月12日～4月13日)

Hoshino Racing Co.,Ltd.

SUPER FORMULA 2014 Round1

SUZUKA Race Report 2014.4.12~13

LENOVO TEAM IMPUL No.19 J.P de Oliveira

No.20 Narain Karthikeyan

痛恨のミスで勝利を逃す…



今年の車載カメラは形状一新

先週のSUPER GT開幕戦岡山国際サーキットに引き続き、SUPER FORMULAも鈴鹿サーキットにて開幕です。TEAM IMPULは連戦となりますが、残留のジョアオ・パオロ・デ・オリベイラとF1を経て2001年以来のチーム復帰となるナレイン・カーティケヤンの2人で苦汁をなめた昨シーズンのイメージを払拭すべく戦って参ります。今シーズンよりニューマシン、ダラーラSF14が導入され非常に注目度の高い1年となります。メインスポンサーには昨年に引き続きレノボ・ジャパン株式会社様をお迎えしました。



走行前にアライメント測定中



4/12(土)公式予選 天候:晴れ コース:ドライ 気温:21℃ 路面温度:30℃

開幕前に行われた公式テストから、トヨタエンジン搭載車が非常に好調で、オリベイラとカーティケヤンの2人もフリー走行から上位に付けます。ニューマシン、ダラーラSF14登場で昨年よりタイムアップしていてコースレコードをも更新する非常にハイレベルな予選となりました。ノックアウト形式での予選、Q1はオリベイラ4位、カーティケヤン5位で危なげなく通過、Q2もオリベイラ2位、カーティケヤン7位で2人揃って最終Q3に駒を進めます。Q3開始直後からLENOVO TEAM IMPULで先陣を切ってアタックを敢行。オリベイラはセクター1、2とベストでクリア。得意のセクター3でパワースライドするミスで残念ながら1分37秒399で5位のタイムに終わりました。すぐあとにカーティケヤンが素晴らしいアタックを見せ、1分37秒148でトップタイムをマーク。その後No.36にトップタイムを塗り替えられPPの座は惜しくも逃しますが、国内トップフォーミュラ復帰初戦のカーティケヤンが2位、オリベイラは最終的に5位となりました。オリベイラのアタックでのミスとカーティケヤンの降格(※下記参照)は残念ですが、手応えある予選で、決勝を戦う図式が出来てピット内はいいムードでした。

※カーティケヤンはフリー走行でSF統一規則第28条10.(いかなるときも、車両を不必要に低速で運転したり、不規則に走らせたりあるいは他のドライバーにとって潜在的に危険とみなされるような運転をすることは許されない)により、3グリッド降格となりました。



今年戦うTOYOTAサポートチームのドライバー達



ピット裏のゲストスペースには
レノボのモニターが10台



4/13(日) 決勝レース 天候:曇り コース:ドライ 気温:16℃ 路面温度:21℃
 決勝レース距離 5.807km× 43laps = 254km

決勝レースは、オリベイラが4番グリッドから、カーティケヤンが5番グリッドからスタートしました。オリベイラはスタートを決め、No.3を1コーナーでかわして3位に浮上、カーティケヤンも無難にスタートして5位のポジションを守ります。トップ2台のNo.37とNo.36のペースが良く、オリベイラは約4秒の差を広げられてしまいます。一方のカーティケヤンもやや劣勢で、No.8へオーバーテイクされ6位へ順位を下げます。レースは13周目で早くもピットインをするマシンも出てきて、LENOVO TEAM IMPULの2台もピットインのタイミングをうかがう中、15周目でなんと6位走行中のカーティケヤンが逆バンクで痛恨のスピン。エンジンが止まりコースの真ん中でストップしてしまいました。カーティケヤンはこれでリタイア、予選の結果が良かっただけに悔やまれる結末となってしまいました。この影響で、セーフティーカーが入ることとなります。しかし、ここで3位走行中のオリベイラはピットに入らずコースにステイします。当然ここでピットインする指示を…。ピット内の伝達が明確でなく、オリベイラに伝わらずピットインしないでレースを失う大きなミスをしてしまいました。18周目にレースは再開。トップのNo.37もピットに入らなかったため、オリベイラは2位のポジション。燃料が軽いためブッシュして、のちにピットインしたあとに出来るだけ前の位置で戻れるよう、3番手以下とマージンを懸命に広げるレースに徹します。31周目にピットイン、給油とタイヤ交換を済ませてコースに戻りますが13位のポジションとなりました。その後、オリベイラは追い上げて中段の集団に追いつき38周目にNo.41をオーバーテイク、39周目に挙動を乱したNo.1をもかわしていきます。その後もファステストラップを連発する力走で順位を上げ最終的7位でフィニッシュ、入賞を果たしポイントを獲得しました。

順位	ドライバー	タイム	ラップ	タイム	ラップ	タイム	ラップ	タイム	ラップ
1	中嶋 一貴	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
2	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
3	中嶋 一貴	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
4	中嶋 一貴	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
5	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
6	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
7	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
8	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
9	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
10	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
11	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
12	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
13	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
14	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
15	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
16	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
17	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
18	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
19	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700
20	佐々木 大介	11.519	28.210	27.600	27.700	27.700	27.700	27.700	27.700



各走行ごとに入念な打ち合わせのナレイン



レノボ様のスタッフと談笑中



レース後半ファステストラップ連発の力走



2位タイムを出し、母国にTEL.



監督は相変わらず人気No1

各スタッフがデータを解析



インドからも応援が…



戦況を見極める星野監督



予選までの結果から一転、決勝レースではカーティケヤンのストップにより招いたセーフティーカーランの影響でオリベ
イラもレースを落とす結果となってしまいました。今回は勝てるレースをチームサイドのミスで落としてしまい申し訳ありませ
んでした。ライバルチームも強敵ですが、2人のドライバーとマシンの速さがあり戦えることが見えてきました。残念な結果に
なりましたが手応えはあります。全力で頑張ります。今年も1年間、ご支援ご協力よろしくお願い申し上げます

チームインパル ゼネラルマネージャー

金子 豊

監督・ドライバーからのコメント

星野一義

大きなミスで勝てるレースを落としてしまい申し訳ありませんでした。当然JPにピットインの指示をしていまし
たが、伝達できていなかったことは事実です。すべて私の管理不足で反省しています。

NO.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

ガッカリしている。僕にはまったく指示が来なかったし、あの場面で表彰台を逃したのは悔しい。前半トムス勢
に離されたが、少しずつ詰める状況だったのでチャンスはあった。次、頑張るよ！

No.20 ナレイン・カーティケヤン

レースはうまくいかなかった。フリー走行でのラストラップ、デグナーでコースアウトした時のダメージなのか？
中低速コーナーで不安定で遅かった。次はしっかりやりたい。



TEAM IMPUL Race Information

SUPER GT 第2戦 5/3(土)~5/4(日) 富士スピードウェイ

SUPER FORMULA 第2戦 5/17(土)~18(日) 富士スピードウェイ



予選で早さを見せたナレイン



セットの確認は監督自ら参加



ナレインは大人気



SF14のステアリング



2014年 協賛会社様

トヨタ自動車株式会社

レノボ・ジャパン株式会社

株式会社ブリヂストン

EMGマーケティング合同会社

エンケイ株式会社

日本特殊陶業株式会社

タタ・モーターズ

株式会社アライヘルメット

プーマジャパン株式会社

株式会社銀座千足屋

キーバ株式会社

株式会社ホシノインパル

順不同・敬称略

ご支援 誠にありがとうございます。

SF RESULT: 決勝結果 天候:曇り コース:ドライ 気温:16℃ 路面温度:21℃

■ Race (43Laps)				2014.4.13			
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14Team KYGNUS SUNOCO SF14TOYOTA RI4A	43	1:15'49.802	197.57km/h	1'41.203
2	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14FUJI CORPORATION KONDO SF14TOYOTA RI4A	43	1:16'06.023	16.221	1'41.231
3	38	石浦 宏明Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14P.MU/CERUMO-INGING SF14TOYOTA RI4A	43	1:16'11.927	22.125	1'40.908
4	7	平川 亮Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14TOYOTA RI4A	43	1:16'19.492	29.690	1'41.296
5	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14PETRONAS TOM'S SF14TOYOTA RI4A	43	1:16'23.419	33.617	1'40.960
6	37	中嶋 一貴Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14PETRONAS TOM'S SF14TOYOTA RI4A	43	1:16'32.894	43.092	1'40.313
7	19	J.P.デ・オリベイラJoao Paulo Lima de Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14Lenovo TEAM IMPUL SF14TOYOTA RI4A	43	1:16'34.645	44.843	1'39.995
8	11	V.リウツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14HP SF14Honda HR- 414E	43	1:16'41.940	52.138	1'42.122
9	40	野尻 智紀Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14DOCOMO DANDELION M40T SF14Honda HR-414E	43	1:16'43.387	53.585	1'42.129
10	41	武藤 英紀Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14DOCOMO DANDELION M41Y SF14Honda HR-414E	43	1:16'43.966	54.164	1'41.792
11	1	山本 尚貴Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14TEAM MUGEN SF14Honda HR-414E	43	1:16'56.301	1'06.499	1'42.004
12	2	中山 友貴Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14TEAM MUGEN SF14Honda HR-414E	43	1:16'56.999	1'07.197	1'42.574
13	39	国本 雄資Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14P.MU/CERUMO-INGING SF14TOYOTA RI4A	41	1:13'07.112	2Laps	1'41.394
14	10	塚越 広大Koudai Tsukakoshi	HP SF14HP SF14Honda HR- 414E	38	1:16'58.025	5Laps	1'42.602
以上完走							
	31	中嶋 大祐Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14NAKAJIMA RACING SF14Honda HR-414E	28	1:17'20.130	15Laps	1'42.147
	32	小暮 卓史Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14NAKAJIMA RACING SF14Honda HR-414E	24	43'54.818	19Laps	1'42.307
	20	K.R.N.カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14Lenovo TEAM IMPUL SF14TOYOTA RI4A	14	23'53.997	29Laps	1'41.803
	62	嵯峨 宏紀Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14DENSO Le Beausset SF14TOYOTA RI4A	2	4'08.566	41Laps	2'15.884
	18	中山 雄一Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14KCMG Elyse SF14TOYOTA RI4A	0		43Laps	

開始時刻: 15:04'07

終了時刻: 16:19'55

セーフティカー導入: 15:29'10~15:35'49

規定周回数 38 FASTEST LAP:

No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ /

Lenovo TEAM IMPUL SF14 1'39.995 34/43 209.06km/h

車両: SF14 / タイヤ: プリマストーン

SF RESULT: 予選結果 天候: 晴れ コース: ドライ 気温: 21℃ 路面温度: 30℃

■ Qualifying				2014.4.12		
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	36	アンドレ・ロッテラーAndre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14PETRONAS TOM'S SF14TOYOTA RI4A	R 1'37.244	R 1'36.996	R 1'37.022
2	20	ナレイン・カーティケヤンK.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14Lenovo TEAM IMPUL SF14TOYOTA RI4A	R 1'37.705	R 1'37.751	R 1'37.148
3	37	中嶋 一貴Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14PETRONAS TOM'S SF14TOYOTA RI4A	R 1'37.396	R 1'37.528	R 1'37.159
4	3	ジェームス・ロシターJames Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14FUJI CORPORATION KONDO SF14TOYOTA RI4A	1'37.789	R 1'37.700	R 1'37.284
5	19	J.P・デ・オリベイラJ.P.Lima de Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14Lenovo TEAM IMPUL SF14TOYOTA RI4A	R 1'37.452	R 1'37.289	R 1'37.399
6	38	石浦 宏明Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14P.MU/CERUMO-INGING SF14TOYOTA RI4A	1'38.131	R 1'37.663	R 1'37.404
7	8	ロイック・デュバルLoic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14Team KYGNUS SUNOCO SF14TOYOTA RI4A	R 1'37.376	R 1'37.719	R 1'37.543
8	40	野尻 智紀Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14DOCOMO DANDELION M40T SF14Honda HR-414E	1'38.412	1'37.944	1'39.380
9	1	山本 尚貴Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14TEAM MUGEN SF14Honda HR-414E	1'38.130	1'38.086	
10	41	武藤 英紀Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14DOCOMO DANDELION M41Y SF14Honda HR-414E	1'38.754	1'38.108	
11	7	平川 亮Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14TOYOTA RI4A	1'38.344	1'38.127	
12	39	国本 雄資Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14P.MU/CERUMO-INGING SF14TOYOTA RI4A	1'38.627	1'38.223	
13	18	中山 雄一Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14KCMG Elyse SF14TOYOTA RI4A	1'38.601	1'38.260	
14	10	塚越 広大Koudai Tsukakoshi	HP SF14HP SF14Honda HR-414E	1'38.729	1'38.509	
15	11	ヴィタントニオ・リウッツィVitantonio Liuzzi	HP SF14HP SF14Honda HR-414E	1'38.908		
16	32	小暮 卓史Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14NAKAJIMA RACING SF14Honda HR-414E	1'39.063		
17	2	中山 友貴Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14TEAM MUGEN SF14Honda HR-414E	1'39.109		
18	31	中嶋 大祐Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14NAKAJIMA RACING SF14Honda HR-414E	1'39.113		
19	62	嵯峨 宏紀Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14DENSO Le Beausset SF14TOYOTA RI4A	1'39.615		

Q1 : 開始時刻 : 13:50 / 終了時刻 : 14:10

Q2 : 開始時刻 : 14:20 / 終了時刻 : 14:27

Q3 : 開始時刻 : 14:37 / 終了時刻 : 14:44

車両 : SF14 / タイヤ : プリヂストン

SF RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Total
1	8	ロイック・デュバル	10						10
2	3	ジェームス・ロシター	8						8
3	38	石浦 宏明	6						6
4	7	平川 亮	5						5
5	36	アンドレ・ロツテラー	5						5
6	37	中嶋 一貴	3						3
7	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	2						2
8	11	ヴィタントニオ・リウッツィ	1						1
	40	野尻 智紀	-						
	41	武藤 英紀	-						
	1	山本 尚貴	-						
	2	中山 友貴	-						
	39	国本 雄資	-						
	10	塚越 広大	-						
	31	中嶋 大祐	-						
	32	小暮 卓史	-						
	20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン	-						
	62	嵯峨 宏紀	-						
	18	中山 雄一	-						

■ Team ranking

Po	Team	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Total
1	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	15						15
2	KONDO RACING	8						8
3	PETRONAS TEAM TOM'S	7						7
4	P.MU/CERUMO-INGING	6						6
5	Lenovo TEAM IMPUL	2						2
6	HP REAL RACING	1						1
	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	-						
	TEAM 無限	-						
	NAKAJIMA RACING	-						
	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	-						
	KCMG	-						

